

滋賀県立大学生協 理事会前意見交換会



[組織運営]

取り組み概要

日時：2020年12月15日（火）
場所：食堂カフェテリア
参加者数や組合員の反応：自分の生活実感をもとに意見を出していた

背景や概要：理事会で学生の発言が少ない現状から、専務の提案により理事会前の30分で協議事項について意見を出し合った

学生の声と参加でつくる理事会を目指す取り組み

POINT.1

学生の生活実感をもとに意見交換



議題】年度活動方針・業務計画の検討 協議事項（議題外は非公開）
今年度実施された3月31日、滋賀県の学生協全体の活動方針・業務計画を策定するにあたり、協会の現状や、協会の将来を話し合おうと思います。（今年度、弊に就くことが重要課題の検討をしたいと思います）

（議題の概要）

- ・ 今年度、少ない前半はほぼ2020年は既成事実、学生が学生協の中心であり、大学生活を通じて、その成長を促すこと、今年度は、今年度の活動方針については、
- ・ 前年度は活動方針が、入学準備→入学準備→入学準備の不安を払ふこと
- ・ 在校生の目の前の大学生活、何が課題になる？ 活動方針の中心は大学生協にするためには？
- ・ コロナですべての授業がオンライン授業になる？ 活動方針の中心は大学生協にするためには？
- ・ 卒業後のこと、心構え？ 社会に出てからどうやって？

・ 生活協連はコロナによる利用減少が影響を及ぼしている現状、生活協連の中心は、大規模な活動に、

- ・ 協議事項 ... 利用したいが難しい / 利用者が少ないに悩んでいる、は難しい？
- ・ 高橋生 情報 ...
- ・ コロナ対策として、オンライン授業の活用、コロナ対策として、オンライン授業の活用、
- ・ 業務計画で、コロナ対策として、オンライン授業の活用、
- ・ 実質的な活動の中心は、生活協連の活動、

・ 学生委員会の各学生団体の活動を通じて、議定を元に、

- ・ 社会的に事業的な活動 ... SDGs、環境や社会、社会貢献への取り組み
- ・ 学生の活動の中心は、活動 ... みんなの活動の中心は？（後・健康・学業・運動・友達...）

（参考資料） -2020年 学生生活実態調査 自由記入欄
-2020年度総代会議案書（20年度活動方針）

滋賀県立大学生協の理事会は学生の理事・監事が11名いますが、学生の発言が少なく、職員中心の議論にありました。そこで、もっと学生の発言を増やし、学生と職員で議論ができる理事会にしたいという専務の想いから理事会前の30分に学生の理事・監事と協議事項について意見交換をしました。

12月の理事会の協議事項は「2021年度の活動方針」について、大学生生活を過ごす上で困っていること、生協店舗への要望などの議論ポイントを用意し、話し合いました。実際に学生理事から生協店舗のこういうところが使いにくいなどの意見が出ていました。また、参考資料として2020年度の総代会議案書と2020年度の学生生活実態調査が用意され、他の組合員の意見・要望をもとに議論をしていました。

理事会前に協議事項について議論することによって、事前に学生同士が話し合い、理事会で学生からも発言が出るようになりました。学生の発言に対して職員も意見を出し、活発な議論になりました。

理事会の最後に理事長から「学生の声で来年度の滋賀県立大学生協をつくっていきたい」と話しており、今後も継続して理事会前に意見交換会を開いていくそうです。

POINT.2

理事会での報告事項



【理事会で報告・了承事項がしっかりと共有されていますか？】

滋賀県立大学生協の理事会では月ごとの決算報告、事業活動報告、学生総合共済給付報告、諸団体活動報告の4点を報告しています。

学生総合共済給付報告については、単月の給付状況とどのような給付を受ける学生が多いかを報告していました。12月理事会では4回生が「こころの早期対応」に係る給付を受けたことが共有されました。理事会の場で給付報告をすることで、組合員の実態を把握することに繋がり、組合員の現状に合った活動に取り組むことができます。

諸団体活動報告については、生協学生委員会と3つの学生団体の報告をしていました。報告後にお互いの活動を連携していきたいなどの意見交換をしていました。